

蕨 工 ニュース

県立蕨崎工業高等学校 企画・広報部

第57号

2009.07.16

クラフトマン21 関東大会レスリング部 インターハイ予選結果 春季競写会団体優勝写真部

クラフトマン21の取り組み

クラフトマン21は、地域産業の担い手を育成するための文部科学省・経済産業省が指定した事業です。本校は平成19年度から3年間、この指定を受けて様々な教育実践を展開しています。

この一環として、国家検定である技能検定にも取り組んでいます。本年も、旋盤技能検定3級の実技試験が7月9日、10日の両日、県立産業技術短期大学校で実施され、2年生が6名、3年生が6名受験しました。また3年生の植田くんは、昨年本県の2年生としては初めて旋盤技能検定3級に合格し、本年はその上の2級技能に挑戦します。



産技短で高度熟練技能者から指導を受ける2年生



学校で高度熟練技能者から指導を受ける3年生



放課後の練習。熟練した3年生が2年生を指導



試験では、手順どおりに作業ができず苦戦する2年生



3年生3名は、図面も見ずに制限時間内に余裕で完成



2級試験会場のポリテクセンターで事前練習する植田くん

関東大会レスリング部

6月6・7日に千葉県佐倉市民体育館で行われた関東高等学校レスリング大会へ、本校より12名が参加しました。結果は、グレコローマンスタイル55kg級で石原拓朗が優勝、同じく84kg級で廣田竜二が3位に入賞しました。レスリング部は、平成11年度より関東大会での優勝者を11年連続で輩出しています。今回の石原がこの11年間で、18人目の優勝者となりました。来年以降もこの伝統を後輩たちが引き継ぎ記録を伸ばしてくれることと信じています。



全国グレコローマン選手権予選

8月の17日～19日に千葉県で行われる全国高校生グレコローマン選手権大会の県予選会が、6月20日、本校のレスリング場で行われました。本校から13名が参加し、55kg級で石原拓朗が優勝、石丸拓が2位、60kg級で雨宮隆二が優勝、66kg級で小池武が優勝、加賀美秀が2位、74kg級で五味翔太郎が優勝、84kg級で廣田竜二が2位、96kg級で林龍之介が3位、120kg級で芦澤翔が優勝という結果で、全8階級中の5階級で優勝を納めることができました。8月に行われる全国の舞台での活躍を期待したいと思います。

インターハイ予選の結果



弓道部 6月20日、小瀬スポーツ公園武道館においてインターハイ予選が行われました。予選1回目には普段以上の的中を出すことができ、上位につけることができました。しかし、2回目で思うように的中が伸ばせず、2日目の決勝に残ることはできませんでした。3年生はこの大会で引退になります。今後は2年生を中心に活動し、県外大会出場を目指し日々精進していきたいと思ひます。

空手道部 6月20・21日にインターハイ予選が行われました。個人戦は形に村松京、組手に有野直也・秋山亮が参加しましたが、形は1点差でベスト8に残ることができず、組手はラスト30秒で逆転されてしまいました。団体組手は、1回戦は東海高校に不戦勝、2回戦で優勝候補の日大明誠高校とあたり、頑張ったものの力及びませんでした。今後、1年生を中心に努力させていきたいと思ひます。



春季競写会団体優勝写真部

写真部では、6月13日に甲府工業高校で行われた春季競写会に出品しました。競写会当日は県下高校28校から1500点を超える作品が集まりました。審査委員は東京よりお越しいただいた、写真家米美知子先生にお願いし、受賞作品・金賞1点・銀賞3点・銅賞6点、入選10点が決まりました。上位作品は、11月に行われる高校芸術文化祭に出品されます。金賞に輝いた葦崎工業高校浅川君の作品は地場産業の印章業にスポットを当てた作品で「時代を越える伝統工芸」が受賞しました。

講評：昔ながらの匠の技を見事な組写真で表現しています。一枚一枚丁寧に撮られた作品の完成度が高く、高校生とは思えない技術に感服しました。いつまでも残したい日本の伝統を静かに伝える作品です。



「時代を越える伝統工芸」

2-3 浅川 祥輝 撮影



(講評審査委員 写真家 米 美知子先生)

上位10作品は、山日新聞(2009年7月13日)に掲載されました。是非ご覧下さい。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp